

タンパク尿



毎年、健康診断でタンパク尿を指摘されますが、その都度再検査は必要ですか？

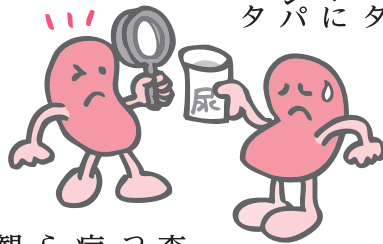


健診での尿検査は、腎疾患の

早期発見を目的としています。健診で見つかり、自覚症状や他の異常がないタンパク尿の中には、起立性タンパク尿、運動性タンパク尿、血尿、発熱後や過労によるタンパク尿など、治療の必要がないものも少なくありません。しかし、一方で初めはごく軽度でも持続する場合は慢性腎炎のサインかもしれないし、去年とは違った原因によるものかもしれません。また、内臓肥満を伴うメ

タボリック症候群や生活習慣病は慢性腎臓病（CKD）の発症との関わりも大きく、血液検査で経過を見ることが

同様に、継続的な尿検査は重要かつ必須です。「前回、再検査で異常がなかったから」「自覚症状がないから」といった楽観視して放置せずに、必ず再検査を受けることが大切です。



「前回、再検査で異常がなかったから」「自覚症状がないから」といった楽観視して放置せずに、必ず再検査を受けることが大切です。



高知高須病院
理事長 池辺 弥夏さん

高知市大津乙2705-1 TEL088-878-3377 〈腎臓内科〉